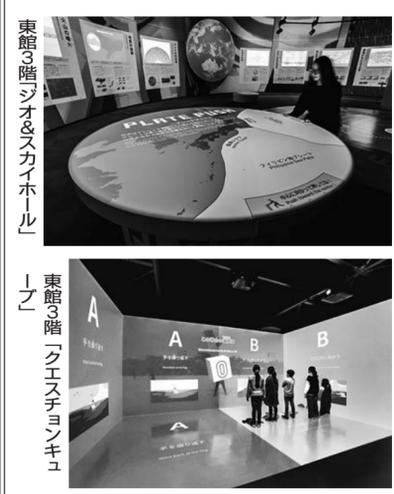


人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝え 自然災害に備える力を身につける



兵庫県神戸市にある「西館」と、防災・被災者支援センターをテーマとした「東館」の二つの建物からなる。西館では、震災の経験と教訓を後世に伝える防災学習施設として2009年に開館し、小・中学校などの学校団体を中心に、まちと人の様子を描いたドキュメンタリードラマ「延べ900万人を超える来館者が訪れる。センターは、阪神・淡路大震災をテーマとした

「阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に伝える防災学習施設として2009年に開館し、小・中学校などの学校団体を中心に、まちと人の様子を描いたドキュメンタリードラマ「延べ900万人を超える来館者が訪れる。センターは、阪神・淡路大震災をテーマとした

伊勢志摩でしか味わえない 体験・見学プログラム提案

伊勢志摩学生団体誘致委員会



海女小屋体験

伊勢志摩地域では、官民一体となり地域への度ば最新版の作成を予定している。その中心となるのが伊勢志摩学生団体誘致委員会(学誘委)だ。学誘委では、伊勢志摩ならではの体験や見学プログラムを提案し、「児童生徒の皆さんの心に響く思い出作りのお手伝い」を行っている。

真珠取出し体験

現在、特に力を入れているのは、伊勢志摩の海産物から学ぶSDGsの環境から学ぶSDGsの学習だ。昨年度、「伊勢志摩教育旅行SDGsプログラム」(https://www.ishima-kankou.jp/gakyo/)を立ち上げた。真珠取出し体験、海女小屋体験、出張海女講座の受講などが可能だ。世界で初めて真珠養殖に成功した三浦重太郎の真珠島で、真珠取出し体験

「伊勢志摩教育旅行SDGsプログラム」の表紙。伊勢志摩教育旅行SDGsプログラム



出張海女講座

伊勢志摩だが、マリンアクティビティ等の自然体験、水族館での動物との触れ合いなどの魅力の一つだ。再来年の2025年4月13日から10月13日までの184日間、大阪市の

「離れて体験する島の暮らし」プログラムでは、釣り、農内散策、海女との交流、市場見学などを体験できる。これら伊勢志摩ならではの文化は、自然豊かな地域だからこそ発掘した。自然と共に生きていく。伊勢志摩で、海女業、真珠養殖を生業としている人々からその伝承を聞き、環境保全という大きなテーマを自分事として捉える機会を生徒たちに提供することができ

「伊勢志摩教育旅行SDGsプログラム」の表紙



国立公園での自然学習の様子

長野県観光機構は、全に対する意識を高めること。長野県観光機構は、全に対する意識を高めること。長野県観光機構は、全に対する意識を高めること。

国立公園で「自然学習」

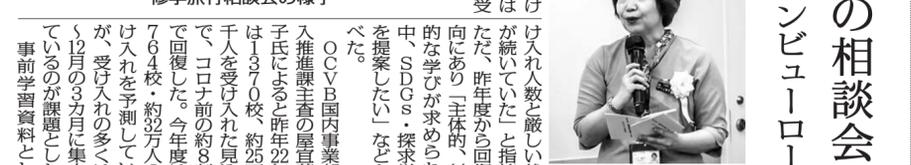
長野県観光機構 SDGs教育プログラム

長野県観光機構は、全に対する意識を高めること。長野県観光機構は、全に対する意識を高めること。長野県観光機構は、全に対する意識を高めること。

東京で沖縄修旅の相談会

県と観光コンベンションビューロー

沖縄県と、沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)は8月24日、東京都内で沖縄修学旅行相談会を開催した。学校関係者を対象とした。約100人が参加し、県内の修学旅行受け入れ事業者や、修学旅行のモニターツアーを実施することなどが明らかになった。



川上氏

「おきなわ修学旅行ナビ」や、安全・安心への取り組みをコンパクトにまとめたガイドブック「安全安心ガイド」を用意していること、また、修学旅行の事前事後学習に講師を派遣する「アドバイザー派遣事業」なども用意していること、また、修学旅行の事前事後学習に講師を派遣する「アドバイザー派遣事業」なども用意していること。

中学校の修学旅行 重点を置いた活動

1位「遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学」

日本修学旅行協会は、2021年度に実施された全国の中学校、高等学校の修学旅行の実態などをまとめた「教育旅行年報」(2022年12月発行)をまとめた。教育旅行年報「2022」によると、その内訳は国立76校(同22.1%)、公立176校(同51.6%)、私立107校(同31.6%)、合計289校(同86.3%)。このうち、重点を置いた活動は、遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学が最も多かった。実施率は前回は48.5%、今回は48.5%とほぼ同等だった。

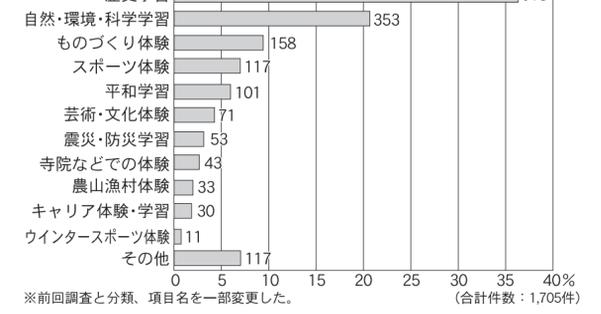
日本修学旅行協会 調査

図表1 重点を置いた活動内容とその件数、実施率

順位	前回	今回	活動内容	国立件数	公立件数	私立件数	全体件数	実施率
1	1	1	遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学	4	288	48	340	48.5
2	4	2	伝統的町並みや建造物群保存地区の見学	2	156	20	178	25.4
3	3	3	水族館、動物園、自然・科学系博物館などの見学	0	151	10	161	23.0
11	2	4	自然や野外活動体験(無人島体験、洞窟体験など含む)	3	121	18	142	20.3
6	5	5	絵付け、焼き物、伝統工芸など	0	117	14	131	18.7
3	7	6	平和学習(体験講話含む)	3	63	35	101	14.4
16	6	7	その他のスポーツ(ラフティング、カヌー、フィッシング、熱気球、トレッキング、乗馬など)	2	86	9	97	13.8
8	8	8	博物館などの見学	2	54	5	61	8.7
14	9	9	震災学習、防災学習	1	45	7	53	7.6
24	11	10	環境学習	1	38	11	50	7.1
4	16	11	坐禅、法話、写生など(出張含む)	1	38	4	43	6.1
12	10	12	産業や産業遺産の見学	2	36	1	39	5.6
5	15	13	職場訪問、職場体験、職業講話、工場見学など	1	26	3	30	4.3
10	12	14	伝統文化、伝統芸能、祭り体験(香道、舞妓、着付け、三味線、ペーロン、エイサーなど含む)	0	25	4	29	4.1
21	13	15	料理、食品加工体験(そば打ち、菓子作り、魚さばきなど)	1	22	4	27	3.9
14	17	16	マリンスポーツ(ダイビング、シュノーケリングなども含む)	1	15	4	20	2.9
23	14	17	美術館などの見学	0	14	4	18	2.6
22	19	18	漁業体験(釣り、地引網を含む)	0	12	1	13	1.9
7	22	18	ミュージカル、演劇などの鑑賞	1	12	0	13	1.9
27	20	20	スキー、スノーボード、スケートなど	0	7	4	11	1.6
20	18	21	農業体験	0	8	1	9	1.3
18	26	22	学校見学(大学、専門学校など)	0	1	8	9	1.3
13	21	23	歌舞伎、文楽、能楽などの鑑賞	1	4	2	7	1.0
19	23	23	国際交流(外国人、留学生との交流)	0	6	1	7	1.0
17	25	25	いなか暮らし体験	0	2	2	4	0.6
28	27	25	コンサート、音楽の鑑賞	0	2	2	4	0.6
—	—	25	林業体験	0	2	2	4	0.6
26	24	28	酪農体験	0	2	1	3	0.4
—	—	29	ボランティア体験	0	2	0	2	0.3
28	—	30	介護・福祉体験	0	1	0	1	0.1
25	27	—	販売・商業体験	0	0	0	0	0.0
—	—	—	その他	2	78	18	98	14.0
合計				28	1,434	243	1,705	

※複数回答(ただし上位三つまで)
※その他には「クラス別活動」や「調査研究」「自主研修」「社会体験」などが含まれる

図表2 重点を置いた活動の分類別件数・比率



【参考】前回調査(2020年度)

